

森林資源の循環利用の促進に関する 年次報告書



平成30年9月
鹿児島県

はじめに

森林は、県土を守り、清らかな水や美しい景観を提供するとともに、生物多様性を保全し、地球温暖化の主な原因とされる二酸化炭素を吸収・貯蔵するはたらしを有するほか、木材をはじめとする林産物を供給するなど、安心・安全な県民の生活になくてはならない県民共通の財産です。

このような中、本県のスギ・ヒノキ等の人工林は本格的な利用期を迎えており、大型木材加工施設や木質バイオマス発電施設の稼働、東アジア等への木材輸出等により木材需要は大幅に増加してきています。

一方、林業の採算性の悪化、森林所有者の高齢化及び不在村化等により、手入れの行き届いていない人工林や皆伐されたまま植林されずに放置された森林が増加しつつあり、森林の有する機能の低下が懸念されており、「植える」、「育てる」、「使う」、「植える」という森林資源の循環利用を促進することが非常に重要となっています。

このため、森林の有する機能が発揮されるとともに、森林資源が将来にわたり活用され、地域が発展することを目指して「森林資源の循環利用の促進に関するかごしま県民条例（通称：かごしまみんなの森条例）」が議員提案により平成29年12月に制定され、再生林の推進や県産材の利用促進など、森林資源の循環利用の促進に関する取組を継続的かつ包括的に展開していくこととなりました。

今回、本条例第21条に基づき、平成29年度に実施した森林資源の循環利用の促進に関する施策及びその成果等を取りまとめましたので報告します。

森林資源の循環利用の促進に関するかごしま県民条例（抄）

（施策の実施状況の報告等）

第21条 知事は、毎年度、県議会に森林資源の循環利用の促進に関して前年度に実施した施策及びその成果に関する報告書を提出するとともに、これを公表しなければならない。

目 次

I	平成29年度に実施した施策及びその成果	1
1	施策の推進体制の整備	1
2	森林の整備及び保全	2
3	県産材の生産体制の強化	3
4	再造林及び間伐等の促進	5
5	流通加工体制の整備	7
6	県産材の利用促進	9
7	県産木材製品の国内販売等の促進	11
8	県産材の有効活用の促進	12
9	人材の確保及び育成	13
10	特用林産物の振興	15
11	普及啓発及び木育の推進	17
	(参考) 林業の主要指標の推移	19
II	森林環境税関係事業の取組状況〔平成29年度〕	20
	(別冊) 森林資源の循環利用の促進に関するかごしま県民条例	

I 平成29年度に実施した施策及びその成果

1 施策の推進体制の整備（条例第10条関係）

森林資源の循環利用の促進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、各種協議会等を開催し、行政と林業関係者間の情報共有を図るとともに、推進体制の整備に向けた協議等を行った。

〔 主な取組等 再造林推進連絡会：5 地域
林業成長産業化地域重点プロジェクト会議：14回 〕

事業名	取組及び成果等
(1) かがしま未来の森林(もり)づくり促進強化事業	○普及啓発活動，技術研修会の開催 ・鹿児島県再造林推進対策会議の開催：1回 ・再造林推進連絡会及び再造林技術研修会の開催：5地域
(2) 「森林整備推進等基金」推進体制整備事業	○協議会の開催及び事業計画の作成 ・県森林整備推進等基金協議会の開催：2回
(3) 林業成長産業化地域創出モデル事業（一部）	○モデル事業の推進体制の構築及び進捗管理 ・推進部会の開催：2回 ・重点プロジェクト会議の開催：14回



低コスト再造林技術研修会
(かがしま未来の森林(もり)づくり促進強化事業)



再造林推進プロジェクト会議
(林業成長産業化地域創出モデル事業)

2 森林の整備及び保全（条例第11条関係）

森林の有する多面的機能の発揮を図るため、適切な森林施業に必要な森林調査などの地域活動や合意形成活動に対し支援した。

また、林地台帳の整備等に関する市町村説明会を開催し、市町村における林地台帳の整備促進に努めた。

〔 主な取組等 地域活動対象森林面積：3,100ha
林地台帳整備等に関する市町村説明会：7地区 〕

事業名	取組及び成果等
(1) 森林整備地域活動支援事業	○森林経営計画の作成，森林施業の集約化のための森林調査及び既存路網の簡易な改良 ・地域活動対象森林面積：3,100ha，15事業体（29市町村）
(2) 森と人をつなぐ集約化推進事業（一部）	○再造林等の実施に関する森林所有者への合意形成活動及び地域コミュニティ等と連携した森林施業集約化の推進 ・再造林の合意形成活動：206ha ・間伐推進会議等の開催：6地域 ・施業集約化の普及啓発活動：伐採届旗の作成，パンフレットの配布
(3) 林地台帳整備及び林地台帳原案提供に関する市町村説明会	○市町村説明会の開催 ・林地台帳整備市町村説明会：7地区72名 ・林地台帳原案提供市町村説明会：6地区48名



森林施業に必要な地域活動
(森林整備地域活動支援事業)



間伐推進会議
(森と人をつなぐ集約化推進事業)

3 県産材の生産体制の強化（条例第12条関係）

木材を安定的かつ効率的に生産するため、それぞれの目的・役割に応じて、森林管理道、林業専用道等を計画的に整備するとともに、低コスト作業システムの構築を図るために必要な高性能林業機械の導入を推進した。

主な取組等	高性能林業機械導入：17台
	森林管理道：3,363m
	林業専用道：6,550m
	森林作業道等：357,344m
	路網整備合計：367,257m

事業名	取組及び成果等
(1) 造林補助事業 (一部)	○間伐材の搬出等を効率的に実施するための森林作業道の開設 ・森林作業道の整備：151,809m
(2) ふるさとの森再生事業	○間伐材の搬出を効率的に実施するための林業専用道の開設 ・林業専用道の整備：480m ○森林整備の効率的かつ円滑な実施及び低コスト作業システムの構築を図るために必要な高性能林業機械の導入 ・高性能林業機械の導入：8台
(3) ふるさとの森生産性強化対策事業(一部)	○間伐材の搬出を効率的に実施するための林業専用道及び森林作業道の開設 ・林業専用道の整備：4,480m ・森林作業道の整備：98,258m ○森林整備の効率的かつ円滑な実施及び低コスト作業システムの構築を図るために必要な高性能林業機械の導入 ・高性能林業機械の導入：8台
(4) 次世代ふるさとの森再生事業(一部)	○間伐材の搬出を効率的に実施するための森林作業道の開設 ・森林作業道の整備：5,168m
(5) 林業成長産業化地域創出モデル事業 (一部)	○森林整備の効率的かつ円滑な実施及び低コスト作業システムの構築を図るために必要な高性能林業機械の導入 ・高性能林業機械の導入：1台
(6) 未来につなぐ森林(もり)づくり推進事業 (一部)	○間伐材搬出に必要な作業路及び集材路の開設及び間伐機械・器具等の整備 ・作業路及び集材路の整備：97,749m ・間伐機械・器具等の整備：17台
※森林環境税関係事業	○強度間伐の実施に必要な管理路網の開設 ・森林管理路の整備：4,360m
(7) 林道事業	○機械化等による効率的な森林施業に必要な路網を整備するため、それぞれの目的・役割に応じて、森林管理道、林業専用道を計画的に整備 ・森林管理道：3,363m ・林業専用道：1,590m



林業専用道の整備
(ふるさとの森再生事業)



森林作業道の整備
(ふるさとの森生産性強化対策事業)



高性能林業機械の導入
(林業成長産業化地域創出モデル事業)



作業路の整備
(未来につなぐ森林(もり)づくり推進事業)



森林管理道の整備
(林道事業)



森林管理道の活用状況
(林道事業)

4 再造林及び間伐等の促進（条例第13条関係）

再造林に必要な優良苗木の安定的な供給に向けた採穂園等の整備や優良種穂の配付等に取り組むとともに、多様で健全な森林を育成するため造林補助事業等により再造林や間伐等の森林整備を推進した。

また、再造林及び再造林地の保育の実施を推進するため、再造林や下刈り作業の省力化に関する研究等を行った。

主な取組等 人工造林：655ha（うち再造林：512ha）
 間伐：3,252ha（うち搬出間伐：2,893ha）
 （※実施面積は補助事業以外も含む）

事業名	取組及び成果等
(1) 造林補助事業（一部）	○多様で健全な森林を育成するための人工造林，下刈り，間伐等の森林整備 ・人工造林：629ha ・下刈り：1,462ha ・除伐等：605ha ・間伐等：1,730ha ほか
(2) 種苗事業	○育種母樹の整備，穂木採取，コンテナ苗生産者養成塾の開催，需給調整会議の開催等 ・母樹造成：0.61ha，・穂木採取：167,400本 ○優良種穂（クロマツ種子及びスギ穂）の採取・配分 ・クロマツ種子：2kg，・スギ穂：80,000本
(3) ふるさとの森生産性強化対策事業（一部）	○搬出間伐の実施 ・間伐：882ha
(4) 次世代ふるさとの森再生事業（一部）	○搬出間伐の実施 ・間伐：53ha
(5) 林業成長産業化地域創出モデル事業（一部）	○森林施業の集約化，再造林の推進等 ・森林情報取得調査：22カ所，18ha ・伐採地の調査及び再造林の推進活動 ・一貫作業や下刈り省力化の普及・定着に向けた現地研修会等の開催 ・森林情報処理システム（森林GIS）の整備
(6) 未来につなぐ森林（もり）づくり推進事業（一部） ※森林環境税関係事業	○森林（もり）づくり推進活動 ・森林（もり）づくり検討会の開催：20市町村，25回 ・間伐技術講習会の開催：6市町村，7回 ・森林（もり）づくり推進員活動：173人，4,135日（22市町村） ○森林（もり）づくり健全化整備 ・除伐・つる切り：110ha，機能増進間伐：79ha，間伐：278ha ○森林（もり）づくり多様化整備 ・強度間伐：166ha ○再造林等促進 ・再造林支援：417ha，防護柵の設置：17,102m
(7) 県単試験事業（一部）	○再造林等の省力化に関する研究 ・再造林等の省力化や低コスト化を図るため，コンテナの容量を小さくした苗木を植栽し，活着率や成長量等を検証 ・下刈り時期の分散や回数を削減した試験地を設定し，その効果を検証



再造林施行箇所
(造林補助事業)



コンテナ苗生産者養成講座
(種苗事業)



間伐施行箇所
(ふるさとの森生産性強化対策事業)



一貫作業現地研修会
(林業成長産業化地域創出モデル事業)



間伐施行箇所
(未来につなぐ森林(もり)づくり推進事業)



コンテナ苗の成長量の検証作業
(県単試験事業)

5 流通加工体制の整備（条例第14条関係）

県産材を低コストで安定的に供給できる体制を構築するとともに、木材製品の品質向上等により県産材の競争力強化を図るため、木材加工施設や木材集出荷施設の整備を支援した。

また、木材産業を取り巻く情勢の変化に適確に対応するとともに、今後、増加が見込まれる県産材の生産量に対し適確に対応していくため、木材需給動向等に関する情報収集に努めた。

〔主な取組等 木材加工施設等の整備：4箇所〕

事業名	取組及び成果等
(1) 林業・木材産業構造改革事業	○木質バイオマス利用施設の整備のほか、各種施設の利用計画と実績の把握などの利用促進に向けた指導、円滑かつ効果的な各種機械施設の利用・運営などの経営管理指導 ・木質バイオマス利用施設：1施設 ・経営管理指導：11施設(延べ15回)
(2) 林業成長産業化地域創出モデル事業（一部）	○木材流通の効率化に寄与する中間土場設置指針の検討 ・中間土場設置指針作成検討委員会の開催：1回 ・中間土場の最適配置の判断方法や流通段階におけるコスト分析等について調査を実施
(3) 木材生産基地モデル事業	○木材生産推進プラン実行監理，木材の有利販売に向けた取組，大ロット集荷施設整備，販路拡大に向けた取組 ・木材生産推進プラン実行監理：2地域 ・木材の有利販売を目的とした山土場仕分の実施 ・木材集荷拠点（中間土場）の造成 鹿児島地域：1,500m ² ，熊毛地域：3,700m ² ・木材流通関連情報の把握・分析及び販路拡大に係る調査等の実施
(4) 木材需給対策事業	○木材の需給及び価格等に関する情報を収集し，毎月，県ホームページに掲載
(5) 木材産業近代化対策事業	○木材・製材業者等を対象に素材や製材品の生産量，出荷量等の実態調査を実施 ・木材需給動向調査（素材生産量）：64件 ・木材業・製材業動態調査：182件
(6) 力強い木材産業生産性強化対策事業	○地域材の競争力強化や生産性向上など，体質強化を図るための木材加工施設等の整備 ・木材加工施設，木材集出荷施設の整備：3施設



おが粉製造施設の整備
(林業・木材産業構造改革事業)



木材集荷拠点（中間土場）の造成
(木材生産基地モデル事業)



木材加工施設の整備
(力強い木材産業生産性強化対策事業)



木材集出荷施設の整備
(力強い木材産業生産性強化対策事業)

6 県産材の利用促進（条例第15条関係）

品質の確かな「認証かごしま材」の販路拡大等を図るため、品質確認検査や消費者への普及啓発等を行った。

また、地域材を活用した木造公共施設等の整備や「かごしま材」を利用した家づくりに取り組む「かごしま緑の工務店」の活動を支援するなど県産材の利用促進を図った。

〔 主な取組等 木造公共施設等の整備：15箇所
かごしま緑の工務店の活動支援：24社 〕

事業名	取組及び成果等
(1) 木造公共施設整備事業	○地域材を活用した木造公共施設等の整備 ・社会福祉施設等の整備：3施設
(2) かごしま材利用促進事業	○県産材の利用推進方策等についての協議 ・木材利用推進協議会の開催：1回
(3) 認証かごしま材安定供給対策事業	○認証かごしま材を安定的に供給するための需給調整会議の開催やパンフレットの作成等、販路拡大に向けた普及啓発活動 ・需給調整会議の開催：1回 ・品質等確認検査及び指導：16工場
(4) 「かごしま木の家」づくり加速化事業	○かごしま材を積極的に使用して家づくりに取り組む「かごしま緑の工務店」の登録及び緑の工務店による完成見学会等の販売促進 ・かごしま緑の工務店の登録：189社（平成29年度末） ・かごしま緑の工務店の活動支援：24社
(5) かごしまの良か家づくり事業	○「かごしま木の家」の新たな魅力に繋がる実践的取組 ・新たな魅力につながる取組支援：3件
(6) 木のあふれる街づくり事業（一部） ※森林環境税関係事業	○PR効果の高いモデル的な木製品・木造施設の整備や木製品の開発、小中学校及び公共施設等における木製机・椅子等の整備等 ・幼児用椅子：79脚，幼児用ロッカー：12台，木製遊具：1基 ・木造施設の整備（内装木質化含む）：10施設 ・オフィス家具等の開発：2件 ・空港待合所整備：1棟 ・小中学校における木製机・椅子の整備：29セット（1校） ・公共施設における木製机・椅子等の整備：椅子121脚，書架10台，テーブルベンチ5基，花台4台，遊具3基など
(7) かごしま木づかい推進事業	○地域材を活用した木造公共施設等の整備 ・社会福祉施設の整備：2施設



社会福祉施設の整備
(木造公共施設整備事業)



木材利用推進協議会
(かごしま材利用促進事業)



認証かごしま材
(認証かごしま材安定供給対策事業)



かごしま木の家
(かごしまの良か家づくり事業)



木製遊具
(木のあふれる街づくり事業)



社会福祉施設の整備
(かごしま木づかい推進事業)

7 県産木材製品の国内販売等の促進（条例第16条関係）

新たな建築資材であるCLT等の県外への販路拡大を促進するため、県外イベントにおけるPR活動等を支援した。

また、木材輸出に携わる関係者等の情報交換及び連携強化を図るとともに、輸出業者による商談等の活動を支援するなど、県産材の更なる輸出拡大を促進した。

〔 主な取組等 県産材輸出促進協議会の開催：2回
CLT等商談会の開催：2回
県産材輸出量：169,389m³（対前年度比：151%） 〕

事業名	取組及び成果等
(1) CLT等利活用加速化事業 (一部)	○CLT、2×4部材の販路拡大に向けた県外イベント等でのPR活動や、工務店等を対象とした商談会の開催 ・県外イベントでのPR（千葉県、福岡県） ・商談会の開催：2回（福岡県）
(2) 県産材輸出拡大支援事業	○県産材輸出促進協議会の開催や外国語版PRパンフレットの作成等により輸出拡大に向けた取組を促進 ・県産材輸出促進協議会の開催：2回 ・外国語版PRパンフレットの作成：10,000部 ・輸出業者が行う商談等に対する支援：8事業体



県外イベントでのPR
(CLT等利活用加速化事業)



外国語版PRパンフレットの作成
(県産材輸出拡大支援事業)

8 県産材の有効活用の促進（条例第17条関係）

県産材の需要拡大を図るため、新たな建築資材であるCLTを利用したモデル的な建築物の整備を支援した。

また、新たな木材需要の創出を図るため、流通実態調査や木材需要調査を実施するとともに、早生樹材を活用した木製品の開発やCLTを活用した在来軸組工法用高耐力壁の開発に向けた研究等を行った。

〔主な取組等 CLTパネル工法による賃貸集合住宅の整備：1棟〕

事業名	取組及び成果等
(1) CLT等利活用加速化事業（一部）	○CLTを活用したモデル的な建築物の整備 ・CLTパネル工法による賃貸集合住宅の整備：1棟（始良市） [延床面積：660m ²]
(2) 林業成長産業化地域創出モデル事業（一部）	○新たな木材需要の創出を図るための流通実態調査や木材需要調査の実施 ・流通実態調査（木材市場、製材工場、木材販売会社） ・木材需要調査（住宅メーカー）
(3) 県単試験事業（一部）	○新たな木製品・技術の開発に関する研究 ・コウヨウザン等早生樹材を活用した木製品の開発 ・CLTを活用した在来軸組工法用高耐力壁の開発 ・県産スギCLTの保存処理による耐久性向上に関する研究



CLTパネル工法による賃貸集合住宅
（CLT等利活用加速化事業）

9 人材の確保及び育成（条例第18条関係）

担い手の確保・育成を図るため、関係機関・団体等と連携して、新規就業を促進するための研修や林業労働災害の未然防止のための安全巡回指導等を実施した。

また、建築技術講習会等を通じて、市町村や建築士等に対し、公共施設や民間施設等への木材利用の促進を図った。

主な取組等	「鹿児島きこり塾」 入門コース：5日間 専門コース：14日間 森林施業プランナー研修：13回 建築関係者への木材利用研修会：16回
-------	--

事業名	取組及び成果等
(1) 森林整備担い手育成確保総合対策事業	○「鹿児島きこり塾」の開催 ・入門コース：5日間（12名） ・専門コース：14日間（10名） ○林業労働安全巡回指導の実施 ・安全衛生指導員による巡回指導を実施：26事業場
(2) 森と人をつなぐ集約化推進事業（一部）	○森林施業プランナー新規育成及び技能向上のための研修会の開催 ・森林施業プランナー研修会：3回，20名 ・森林施業プランナー地域実践研修会：10回，42名
(3) 林業後継者育成対策事業	○林業の担い手となる青年を対象としたスペシャリスト養成講座の開催 ・受講生：8人 ○地域リーダーの認定 ・指導林家：2人 ・指導林業士：7人 ・青年林業士：6人 ○林業研究グループ九州地区交換研修への参加，指導林家等の学習会及び地域交流会の活動支援
(4) CLT等利活用加速化事業（一部）	○CLTの需要拡大を担う技術者等を対象とした講習会等の開催 ・技術講習会：1回（44名） ・構造見学会：1回（167名） ・シンポジウム：1回（220名）
(5) 建築関係者を対象とした木材利用の普及啓発	○他部局等が開催する研修会において，木材利用の取組紹介 ・公立学校施設整備等説明会：85名 ・建築技術職員等担当者研修会：93名 ・建築技術講習会（12回開催）：246名 ・市町村立学校における木材利用促進等説明会（2回開催）：62名



鹿児島きこり塾
(森林整備担い手育成確保総合対策事業)



森林施業プランナー育成研修
(森林施業集約化人材育成対策事業)



木造住宅（CLT）の構造見学会
(CLT等利活用加速化事業)



かごしまCLTシンポジウム
(CLT等利活用加速化事業)

10 特用林産物の振興（条例第19条関係）

特用林産物の生産拡大を図るため、担い手の確保・育成や生産基盤の整備、消費拡大の取組を一体的に進め、地域の特性を活かした特用林産物の産地づくりを推進した。

また、豊富な竹林資源を活かして地域の活性化を図るため、早掘りたけのこの生産体制の強化や竹材の有効活用の促進を図った。

主な取組等 生産基盤等整備：10箇所 生産者養成講座：12回 竹林改良：18ha 管理路の整備：3,485m
--

事業名	取組及び成果等
(1) 特用林産物の産地づくり推進事業	○担い手育成対策 ・かごしま原木しいたけ生産者養成講座の開催：5回（受講者数18人） ・枝物生産者養成講座の開催：4回（受講者数21人） ○生産基盤等整備 ・原木しいたけ：乾燥機の導入：1箇所 鳥獣被害防止電気柵の設置：1箇所 ・枝物：シキミ等樹林造成：4箇所， 肥料用散布機等の導入：2箇所 ○消費拡大推進 ・かごしま原木しいたけフェア等の開催 ・かごしま農林水産物認証制度（K-GAP）の周知及び取得促進 ・森のごちそうコンクールの開催：1回
(2) 活動火山周辺地域防災林業対策事業	○降灰防止被覆施設の整備 ・しいたけ用ビニールハウス：1箇所
(3) かごしま竹の郷創生事業	○たけのこ生産の体制づくり ・たけのこ生産者養成講座の開催：3回（受講者数20人） ・施業受委託の促進（出水市，薩摩川内市） ・竹林改良：18ha ・管理路の整備：3,485m ○竹材の生産・有効活用の促進 ・チップーシュレッダーの導入：1箇所 ・集荷システムの検討（薩摩川内市） ・竹製品まつりの開催：1回
(4) 林産物等振興対策事業	○生産流通情報の収集・提供 ・たけのこ・竹材等の生産流通情報の収集・提供 ・しいたけ等の生産流通情報の収集・提供 ・花木類等の特用林産物の生産流通情報の収集・提供
(5) しいたけ等振興資金貸付事業	○原木等購入資金 ・原木購入：247m ³ ，種駒購入：200千個 ○共販資金 ・乾しいたけの共販実績：25トン （融資件数：203件）



シキミ樹林造成
(特用林産物の産地づくり推進事業)



森のごちそうコンクール
(特用林産物の産地づくり推進事業)



原木しいたけ栽培用ビニールハウス
(活動火山周辺地域防災林業対策事業)



竹製品まつり
(かごしま竹の郷創生事業)

11 普及啓発及び木育の推進（条例第20条関係）

森林にふれあう機会や森林整備を体験する機会を提供するとともに、県民が自ら企画・実施する学習・体験活動を支援し、県民参加による森林（もり）づくりを推進した。

また、小中学校等の児童や生徒に対して、森林・林業に関する学習・体験活動を実施し、森林・林業に対する理解を深め、森林をまもり育てる意識の醸成を図った。

主な取組等	みどりの感謝祭：参加者2,000人 九州森林（もり）の日植樹祭：参加者270人 小中学校森林環境教育：17校 977人
-------	---

事業名	取組及び成果等
(1) 森林（もり）とのふれあい推進事業 ※森林環境税関係事業	○森林（もり）とのふれあいの推進 ・みどりの感謝祭：2,000人参加 ・九州森林（もり）の日植樹祭：270人参加 ○森林・林業のふれあい体験活動の推進 ・森林（もり）の体験活動支援：7,280人参加 ・森林（もり）の体験活動発表会：90人参加 ○森林（もり）づくり活動の広報 ・リーフレット作成・配布：10,000枚 ・ポスター作成・配布：320枚 ・クリアファイル作成・配布：5,000枚 ・市電・市バス車内ポスター掲示：20日間
(2) 未来につなぐ森林環境教育推進事業 ※森林環境税関係事業	○小中学校において、森林・林業学習、体験活動（しいたけ駒打ち体験、植樹活動等）の実施 ・実施校数：17校 ・参加人数：児童・生徒977人 ○森林環境教育の実施 ・学校環境緑化・学校林等活動コンクール：23校 ○森林環境教育指導者養成研修 ・宿泊研修及び入門講座：33人参加
(3) 木のあふれる街づくり事業（一部） ※森林環境税関係事業	○県産材の普及 ・木製品の展示・販売 ・木材や木造住宅に関するパネル展示 ○木育の実施 ・親子木工教室の開催：9回



みどりの感謝祭

(森林(もり)とのふれあい推進事業)



九州森林(もり)の日植樹祭

(森林(もり)とのふれあい推進事業)



森林・林業体験活動

(未来につなぐ森林環境教育推進事業)



親子木工教室

(木のあふれる街づくり事業)

(参考) 林業の主要指標の推移

年 度	H25	H26	H27	H28 (対前年度比)	H29 (対前年度比)
木 材 生 産 量 (千m ³)	700	832	867	1,045 (121%)	調査中 (-)
林 産 物 生 産 額 (百万円)	12,058	13,367	13,863	14,515 (105%)	調査中 (-)
再 造 林 面 積 (ha)	254	212	280	460 (164%)	512 (111%)
県 産 材 輸 出 量 (千m ³)	48	72	87	112 (129%)	169 (151%)
県 産 材 輸 出 額 (百万円)	506	754	944	1,222 (129%)	1,831 (150%)
林 業 就 業 者 数 (人)	1,533	1,587	1,539	1,512 (98%)	調査中 (-)

II 森林環境税関係事業の取組状況〔平成29年度〕

1 森林環境税

(1) 税の目的

すべての県民が享受している公益的機能を有する森林環境の保全及び森林をすべての県民で守り育てる意識の醸成に関する施策に要する財源の確保

(2) 課税の仕組み

個人	現行の県民税均等割額に500円を加算
法人	現行の法人県民税均等割額に当該額の5%相当額を加算

(3) 森林環境税条例の適用期間

〔第1期〕平成17～21年度 〔第2期〕平成22～26年度 〔第3期〕平成27～31年度

(4) 歳入・歳出予算

(単位：千円)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度
税収見込額	427,644	446,377	443,083
徴収取扱費	18,205	18,420	18,453
関係事業費	409,439	427,957	424,630

2 平成29年度森林環境税関係事業

(単位：千円)

事業名・事業概要等	予算額 (3月補正後)
1 森林(もり)にまなびふれあう推進事業 (ソフト事業) 広く県民の森林・林業に対する理解を深めるとともに、森林をすべての県民で守り育てる意識の醸成を図るため、森林にふれあう機会の提供や森林環境教育を実施するとともに、県民が自ら実施する森林・林業とのふれあい活動や森林(もり)づくり実践活動等を支援	31,678
① 森林(もり)とのふれあい推進事業 ・森林にふれあう機会や森林整備を体験する機会の提供 ・森林・林業に関するふれあい体験活動の支援	19,402
② 未来につなぐ森林環境教育推進事業 ・森林環境教育指導者養成研修の実施 ・学校林等を活用した児童・生徒に対する森林環境教育の実施 ・緑の少年団の活動推進	7,720
③ 多様な主体による森林(もり)づくり推進事業 ・企業による森林(もり)づくり活動の支援 ・森林ボランティア団体によるの森林(もり)づくり活動の支援	4,556
2 森林(もり)をまもりそだてる整備事業 (ハード事業) 良好な森林環境を創出し、将来にわたってすべての県民が森林の恩恵を享受することができる健全な森林を育成するため、間伐・植栽等の森林整備や地域特性を活かした森林(もり)づくり、県産材の利用拡大の取組を支援	392,952
① 未来につなぐ森林(もり)づくり推進事業 ・森林(もり)づくりに関する情報の整備や森林(もり)づくり推進活動の支援 ・公益的機能の増進のための間伐等の森林整備や路網等整備の支援 ・人工林伐採跡地における植栽(再造林)等の推進	293,068
② 里山林総合対策事業 ・幹線道路沿線や里山林等の公益上重要な森林の整備 ・離島などスギ・ヒノキの少ない地域における地域特性を活かした森林整備等 ・松林の樹種転換、奄美地域の集落後背地の松の薬剤樹幹注入	60,823
③ 木のあふれる街づくり事業 ・県産材を利用したモデル製品の設置やモデル施設の整備 ・木製品の開発及び県産材利用の普及 ・小中学校の内装木質化や木製机・椅子の整備	39,061
合 計	424,630

3 森林環境税関係事業の主な取組状況

(1) 森林(もり)にまなびふれあう推進事業

① 森林(もり)とのふれあい推進事業

〔目的〕 森林にふれあう機会や森林整備を体験する機会を提供するとともに、県民が自ら行う森林・林業とのふれあい活動を支援します。

森林の学習・体験活動の支援



「みどりの感謝祭」の開催



「九州森林(もり)の日」の活動



【主な実績】

区 分		H27	H28	H29	計
森林学習・体験活動 の支援	助成件数	37件	37件	35件	109件
	参加者数	6,504人	7,051人	7,280人	20,835人

② 未来につなぐ森林環境教育推進事業

〔目的〕 小中学校等における継続的な森林環境教育を推進し、森林・林業への理解と森林をまもりそだてる意識の醸成を図ります。

森林・林業教育
(生徒による植栽体験)



森林・林業教育
(生徒による林業体験)



学校環境緑化コンクールの実施



【主な実績】

区 分		H27	H28	H29	計
小中学校の児童・生徒に対する 森林・林業教育の実施	実施校数	17校	17校	17校	51校
	参加者数	1,243人	885人	977人	3,105人

③ 多様な主体による森林(もり)づくり推進事業

〔目的〕 企業や森林ボランティア団体による森林(もり)づくり活動を支援するとともに、森林ボランティア活動に必要な技術研修や若年層の活動促進を行います。

企業による森林(もり)づくり活動への支援



若人森林ボランティア加入促進



森林ボランティア技術研修
(チェーンソー等の取扱い, 安全教育)



【主な実績】

区 分	H27	H28	H29	計
森林ボランティア技術研修受講者	159人	299人	253人	711人

(2) 森林(もり)をまもりそだてる整備事業

① 未来につなぐ森林(もり)づくり推進事業

〔目的〕 多様で健全な森林を育成するため、間伐・再造林等の森林整備や路網整備を推進します。

間伐された森林



間伐された森林
(PR看板設置)



人工林伐採跡地の再造林



【主な実績】

区 分	H27	H28	H29	計
間伐の実施	436ha	802ha	505ha	1,743ha
人工林伐採跡地の再造林	192ha	404ha	417ha	1,013ha
作業路網の整備	79km	91km	102km	272km

② 里山林総合対策事業

〔目的〕 森林の公益的機能の維持・向上を図るため、地域特性や立地条件に応じた森林整備等を推進します。

雑木竹林の伐採整理



里山林の整備



防災等を目的とした
マツ枯損木の伐倒・除去



【主な実績】

区 分	H27	H28	H29	計
雑木竹林の伐採整理	6ha	8ha	4ha	18ha
里山林の整備	3箇所	4箇所	3箇所	10箇所
マツ枯損木の伐倒・除去	1,976m ³	2,018m ³	2,766m ³	6,760m ³

③ 木のあふれる街づくり事業

〔目的〕 モデル的な木造施設の整備や新たな木製品の開発を支援するとともに、小中学校における木製机・椅子の整備や内装木質化を推進します。

木製施設の整備
せきよしの物産館(鹿児島市)



木製品の開発



県産材を利用した空間整備
(喜界空港待合所)



【主な実績】

区 分	H27	H28	H29	計
木製施設等の整備	5件	5件	12件	22件
木製品の開発	5件	2件	2件	9件
県産材を利用した空間整備	4件	6件	1件	11件